



■7月13日(金)に、学習館自主事業「トキと自然の学校」を開催しました。

長岡市トキ分散飼育センターの地元大河津小学校4年生を対象に、「トキと自然の学校」を昨年に続き開催しました。

子どもたちはこれまで、総合学習で「佐渡トキ保護センター」の所長などからトキの生態や佐渡での野生復帰の取組を学んできました。

今回は、トキ分散飼育センターの職員がどのような仕事をしているか知ってもらうため、「飼育員体験」を行いました。

* 監視カメラによるトキ観察

トキは隠病な鳥であるため、職員はエサをやるとき以外はケージ内に立ち入ることはありません。

監視カメラで、ケガをしていないか、エサは十分に食べているかなど、1羽ごとに日々の行動を記録します。



* 施設見学

トキの飼育繁殖に必要な設備について説明を受けました。特に、卵を温めてふ化させる孵化室では、自動で転卵(卵を動かす)してまんべんなく温める仕組みや、約28日で卵からかえることに感心している子どももいました。



* トキのエサづくり体験(馬肉飼料づくり)

冷凍馬肉ミンチ、ゆで人参、ゆで卵(カラ付き)、栄養剤などを計量して混ぜ合せます。混ぜた飼料は、ミンチ機にかけてタッパに入れ、冷凍保存します。



* トキと自然の学習館観覧棟「トキみ〜」見学

館内の照明を出来る限り使用せず、内部を意図的に暗くし、トキから人の姿が見えにくくなるよう工夫をしていることを説明しました。



* トキの卵(擬卵)づくり

本物の卵を見本にしつつも、それにとらわれずオリジナルの卵を作るよう飼育員から指導があると、みんな真剣な表情で色を付け始めました。

思い出に残る個性豊かな卵が出来上がりました!



* おわりに

いよいよ次回は佐渡を訪れ、トキの森公園やトキ野生復帰ステーションの見学、佐渡市立行谷小学校の子どもたちとの交流会を行います!

子どもトキ解説員の先輩である行谷小学校の子どもたちからどんな事が学べるのか、今から楽しみです。